

美幌町における景気動向調査報告書

< 第IV四半期 >

美幌商工会議所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成28年1月
 (2) 調査対象期間 平成27年10月～12月期実績及び平成28年1月～3月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象1

- (1) 景気動向調査
 会員事業所の中から小売業、サービス業、製造業、建設業、卸売業の5業種100事業所に対しアンケート方式により調査した。

3. 業種別回答状況（事業所数）

| 業種 | 企業数 | 対象企業数 | 回答企業数 | 回答率 |
|-------|-----|--------|-------|-------|
| 製造業 | | 20事業所 | 8事業所 | 40.0% |
| 建設業 | | 25事業所 | 11事業所 | 44.0% |
| 卸売業 | | 5事業所 | 3事業所 | 60.0% |
| 小売業 | | 30事業所 | 8事業所 | 26.7% |
| サービス業 | | 20事業所 | 4事業所 | 20.0% |
| 合計 | | 100事業所 | 34事業所 | 34.0% |

- 本調査結果中の「D・I」とある記号は、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値を示す。

業種別D I

| 業況(%) | 今期（2015年10月～12月）の実績 （前年同期比） | | | | 2016年1月～3月の見通し （前期比） | | | |
|-------|--------------------------------|------|------|-------|-------------------------|-------|------|-------|
| | 好転 | 不変 | 悪化 | D I 値 | 好転 | 不変 | 悪化 | D I 値 |
| 全業種 | 14.7 | 58.8 | 26.5 | -11.8 | 5.9 | 29.4 | 64.7 | -58.8 |
| 小売業 | 25.0 | 62.5 | 12.5 | +12.5 | 25.0 | 25.0 | 50.0 | -25.0 |
| 建設業 | 9.1 | 72.7 | 18.2 | -9.1 | 0.0 | 9.1 | 90.0 | -90.0 |
| 製造業 | 12.5 | 37.5 | 50.0 | -37.5 | 0.0 | 25.0 | 75.0 | -75.0 |
| サービス業 | 25.0 | 75.0 | 0.0 | +25.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | ± 0.0 |
| 卸売業 | 0.0 | 33.4 | 66.6 | -66.6 | 0.0 | 33.4 | 66.6 | -66.6 |

| 売上高 (%) | 今期 (2015年10月～12月) の実績 (前年同期比) | | | | 2016年1月～3月の見通し (前期比) | | | |
|---------|----------------------------------|------|------|-------|-------------------------|-------|-------|--------|
| | 増加 | 不変 | 減少 | DI値 | 増加 | 不変 | 減少 | DI値 |
| 全業種 | 29.4 | 35.3 | 35.3 | -5.9 | 8.8 | 32.4 | 58.8 | -50.0 |
| 小売業 | 37.5 | 25.0 | 37.5 | ± 0.0 | 37.5 | 25.0 | 37.5 | ± 0.0 |
| 建設業 | 18.2 | 54.5 | 27.3 | -9.1 | 0.0 | 27.3 | 72.7 | -72.7 |
| 製造業 | 25.0 | 25.0 | 50.0 | -25.0 | 0.0 | 25.0 | 75.0 | -75.0 |
| サービス業 | 50.0 | 25.0 | 25.0 | +25.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | ± 0.0 |
| 卸売業 | 33.3 | 33.4 | 33.3 | ± 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | -100.0 |

※ 建設業は「完成工事高」、製造業は「生産高」を表す。

| 在庫水準 (%) | 今期 (2015年10月～12月) の実績 (前年同期比) | | | |
|----------|----------------------------------|------|------|-------|
| | 過大 | 不変 | 不足 | DI値 |
| 全業種 | 10.5 | 63.2 | 26.3 | -15.8 |
| 小売業 | 12.5 | 62.5 | 25.0 | -12.5 |
| 建設業 | — | — | — | — |
| 製造業 | 0.0 | 62.5 | 27.5 | -27.5 |
| サービス業 | — | — | — | — |
| 卸売業 | 33.3 | 66.7 | 0.0 | +33.3 |

| 採算 (%) | 今期 (2015年10月～12月) の実績 (前年同期比) | | | |
|--------|----------------------------------|------|------|-------|
| | 好転 | 不変 | 悪化 | DI値 |
| 全業種 | 17.7 | 52.9 | 29.4 | -11.7 |
| 小売業 | 37.5 | 50.0 | 12.5 | -25.0 |
| 建設業 | 18.2 | 45.4 | 36.4 | -18.2 |
| 製造業 | 12.5 | 37.5 | 50.0 | -37.5 |
| サービス業 | 0.0 | 75.0 | 25.0 | -25.0 |
| 卸売業 | 33.3 | 33.4 | 33.3 | ± 0.0 |

| 資金繰り (%) | 今期 (2015年10月～12月) の実績 (前年同期比) | | | | 2016年1月～3月の見通し (前期比) | | | |
|----------|----------------------------------|------|------|-------|-------------------------|-------|------|-------|
| | 好転 | 不変 | 悪化 | DI値 | 好転 | 不変 | 悪化 | DI値 |
| 全業種 | 14.7 | 58.8 | 26.5 | -11.8 | 3.0 | 23.5 | 73.5 | -70.5 |
| 小売業 | 37.5 | 50.0 | 12.5 | +25.0 | 0.0 | 62.5 | 37.5 | -37.5 |
| 建設業 | 9.1 | 63.6 | 27.3 | -18.2 | 9.1 | 36.4 | 54.5 | -45.4 |
| 製造業 | 12.5 | 50.0 | 37.5 | -25.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | -50.0 |
| サービス業 | 0.0 | 75.0 | 25.0 | -25.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | ± 0.0 |
| 卸売業 | 0.0 | 66.7 | 33.3 | -33.3 | 0.0 | 33.4 | 66.6 | -66.6 |

Ⅱ. 概 況

《 全体の動き 》

平成27年度第IV四半期（10月～12月）の美幌町における業況は、全業種で見ると前年同期比で「好転した」と答えた企業割合が14.7、「悪化した」と答えた企業割合が26.5「好転」から「悪化」を差引いたD・I値は-11.8ポイントとなっており、前期（7月～9月）D・I値+16.2と比較し28ポイント悪化しており、依然として厳しい状況となっております。業種別で前期と比較して見ると、小売業△1.7、サービス業+5、建設業△29.1、卸売業△66.6、製造業△20.8ポイントとなっております。また、来期（1月～3月）業況の見通しを全業種で見ると「好転する」と答えた企業割合が5.9、「悪化する」と答えた企業割合が64.7であり、D・I値△58.8と大きく悪化する見通しと予測しております。

経営上及び業界の問題点では、諸経費の増加として社会保険料の負担増加、製造業では技術職の人材不足や従業員の高齢化・若手不足などが問題点としてあげられています。

＜ 業 種 別 の 動 き ＞

1) 小 売 業 売 上 高 前期と比較して「増加した」と答えた企業割合と「減少した」と答えた企業割合が共に37.5、D・I値±0となり、前期と比較し28.5ポイント悪化しています。

また来期（1月～3月）の見通しをみると、「増加する」と答えた企業割合と「減少する」と答えた企業割合が共に今期同様37.5、D・I値が±0となっており、売上高の増加に対して明るい見通しは持てないようです。

資 金 繰 り 前期比で「好転した」と答えた企業が37.5、「悪化した」と答えた企業割合が共に12.5、D・I値+25、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が0、「悪化する」と答えた企業割合が37.5、D・I値△37.5となっており、資金繰りは売上高が増加しない中、厳しくなると予測しています。

2) 建 設 業 完 成 工 事 高 前期比で「増加した」と答えた企業割合が18.2、「減少した」と答えた企業割合27.3、D・I値△9.1、来期の見通しをみると「増加する」と答えた企業割合が0、「減少する」と答えた企業割合が72.7、D・I値△72.7となっており、今期と比較し63.6ポイントと大きく減少する見通しであると答えた企業割合が増加しており、来期の見通しも非常に厳しい状況であると予測されています。

2) 建 設 業 資 金 繰 り 前期比で「好転した」と答えた企業割合9.1、「悪化した」と答えた企業割合27.3、D・I値△18.2、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が9.1、「悪化する」と答えた企業割合が54.5、D・I値△45.4となっており、工事受注

の増加が見込めない中、非常に厳しい状況が予測されています。

3) 製造業 生産高

前期比で「増加した」と答えた企業割合が25、「減少した」と答えた企業割合が50、D・I値 $\Delta 25$ 、来期の見通しをみると「増加する」と答えた企業割合が0、「減少する」と答えた企業割合が75、D・I値 $\Delta 75$ となっており、生産高増加の明るい兆しは依然として見込めない見通しであると予測されています。

資金繰り

前期比で「好転した」と答えた企業割合が12.5、「悪化した」と答えた企業割合が37.5、D・I値 $\Delta 25$ 、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が0、「悪化する」と答えた企業割合が50、D・I値 $\Delta 50$ となっており、生産高の増加が見込めない中、資金繰りは益々厳しい状況であると予想しています。

4) サービス業 売上高

前期比で「増加した」と答えた企業割合が50、「減少した」と答えた企業割合が25、D・I値 $+25$ 、来期の見通しをみると「増加する」と答えた企業割合と「減少する」と答えた企業割合が共に0、D・I値 ± 0 となっており、今季と比較し変化はなく売上高については明るい兆しが見えているようです。

資金繰り

前期比で「好転した」と答えた企業割合が0、「悪化した」と答えた企業割合が25、D・I値 $\Delta 25$ 、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合と「悪化する」と答えた企業割合が共に0、D・I値 ± 0 となっており、資金繰りについては不安であると予想されています。

5) 卸売業 売上高

前期比で「増加した」と答えた企業割合と「悪化した」と答えた企業割合が共に33.3、D・I値 ± 0 、来期の見通しを見ると「増加する」と答えた企業割合が0、「減少する」と答えた企業割合が100、D・I値 $\Delta 100$ となっており、来期については回答した事業所すべてが減少するであろうと予測しています。

資金繰り

前期比で「好転した」と答えた企業割合が0、「悪化した」と答えた企業割合が33.3、D・I値 $\Delta 33.3$ 、来期の見通しは「好転する」と答えた企業割合が0「悪化する」と答えた企業割合が66.6、D・I値 $\Delta 66.6$ と大きくマイナスとなっており売上高と共に資金繰りについても不安であると予測されています。

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

| | 1 位 | 2 位 | 3 位 | 4 位 | 5 位 |
|-------|-------------|---------------------------|--------------------------|-----|------|
| 小 売 業 | 得意先の減少 | 同業者間の競合／諸経費の増／消費税増税 | | | 人件費増 |
| 建 設 業 | 人材不足 | 得意先の減少／消費税増税／人件費増／同業者間の競合 | | | |
| 製 造 業 | 人材不足／得意先の減少 | | 諸経費の増／同業者間の競合／人件費増／消費税増税 | | |
| サービ業 | 人件費増 | 同業者間の競合／諸経費の増／消費税増税 | | | |
| 卸 売 業 | 得意先の減少 | 諸経費の増／人件費増 | | | |